

豊かな自然の中で生命が輝く農村をめざして

沖縄県東村



「慶佐次湾のヒルギ林」を生かして行われるエコツアー。(カヌー体験ツアー。)



海面を叩いて珊瑚礁に隠れている魚を網に追い込む「追い込み漁」の体験。



基幹産業の農業を生かして、農家と連携しながら進められている農業体験。

事例の概要

- 平成8年度からスタートした第3次東村総合計画に基づき、「自然との共生」「都市との交流」を基本理念に、交流型農村をめざした村づくりを進めてきた。
- 国指定天然記念物である慶佐次湾のヒルギ林に整備された「東村ふれあいヒルギ公園」には年間10万人の観光客が訪れ村内でのカヌー体験、エコツアー

の中心地になっている。

- 豊かな自然環境を生かしたエコツーリズムやグリーンツーリズムなどの体験型観光を取り入れることにより、平成15年度には県内外から230校(約1万人)の修学旅行生が村を訪れた。

評価のポイント

東村は、山原(やんばる)と呼ばれる沖縄本島北部の東海岸に位置している。基幹作物であるパインアップルの輸入自由化に加え、バブル崩壊後の農産物の価格低迷等農業を取り巻く環境は厳しい状況におかれており、農業の再生を図ることが緊急の課題となっていた。

昭和58年にスタートした「つつじ祭り(年間6～8万人花見客来村)」や「ダムまつり」などの自然を生かしたイベントの実施により村の魅力が広く県民にも知られるようになると同時に交流の力が蓄えられていた。その後、平成8年度からスタートした第3次東村総合計画に基づき、「自然との共生」「都市との交流」を基本理念に、エコ・ツーリズム、グリーン・ツーリズムの推進を村の振興策の基本とおいた。各集落では自主的・主体的な地域おこしのための「活性化委員会」が立ち上げられ、地域主体の「自ら考え自ら行う地域活性化の方策や地域資源の掘り起こし」が行われた。特に慶佐次集落では地域資源として慶佐次湾のマング

ローブ林を活用した地域活性化案が提案されて、行政と連携を図りながら「東村ふれあいヒルギ公園」が整備された。整備後は多くの観光客が訪れ、地域で生産された農産物が売れるようになり、毎年3月には「ヒルギ祭り」が開催されている。

また、豊かな自然環境を生かしたエコツーリズムやグリーンツーリズムなどの体験型観光が脚光を浴び、昨年は県内外から230校余の修学旅行生が村を訪れた。

このように、交流事業が成功している最大の理由として、Uターン者を含めて人のネットワークがしっかり出来上がっているところにある。優良パイン農家、やんばる自然塾などの個性ある人と組織が、お互いの長所を生かして人を迎え入れている。このようなネットワークを作ってきたのは、このような方向に村の活路を見出そうとした行政の姿勢と何よりも担当者の努力であり、まさに協働の成果であるところが評価された。

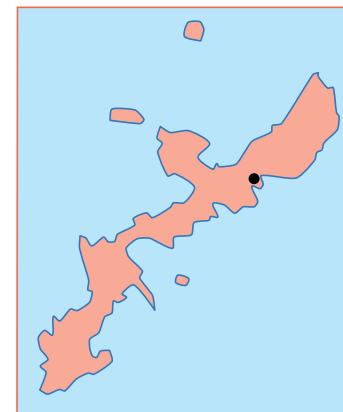


豊かな自然の中に作られたオートキャンプ場はキャンパーから子供まで楽しめる。



村民の手作り公園で毎年3月に開催される「つつじ祭り」には6～8万人の観光客が訪れる。

沖縄県 東村



国勢調査人口

昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年
3,165	2,425	1,891	1,963	1,867

増減率

H12/S35	H12/S45	H7/H2	H12/H7
△41.0	△23.0	3.8	△4.9

高齢者・若年者比率(H12)

高齢者比率	24.0
若年者比率	15.1

交通のご案内

- 自動車 沖縄自動車道許田ICから国道58号経由50分
- 飛行機 那覇空港から自動車150分

団体連絡先

- 名称 沖縄県東村
- 所在地 〒905-1292 沖縄県国頭郡東村字平良804番地
- 電話番号 0980-43-2265 (企画観光課)
- URL <http://www.vill.higashi.okinawa.jp/>